

第5回 算数GGゼミナール

2021年6月27日(日)

「算数授業を子どもと創る」

～授業を変える言葉とかかわり方～

筑波大学附属小学校算数部2人で行う 算数ゼミナール

森本隆史

青山尚司



13:35～14:25 第1部「**子ども**の意識が**変わる**とき ～それって偶然?必然?～」

青山尚司、森本隆史

14:35～15:25 第2部「**教え込み**授業からの**脱却** ～教材と展開を変える～」

森本隆史、青山尚司

15:25～15:55 質疑応答

15:55～16:00 ゼミナール閉会のあいさつ

第1部について(青山尚司より)

授業中に子どもたちの意識が変化し、みんなで考えるべき問いが生まれ、見方や考え方の価値を共有できたりといった素敵な場面に出会えたとき、先生方はどのような言葉かけやかかわり方をしてきたのでしょうか。これまでの自分の授業を振り返ると、偶然に頼って失敗したこともありました。無意識にやっとうまくいったこともありました。そして、それらをたくさん経験した上で、“こう問うべき”と確信できるようになったこともあります。

森本先生と楽しく語り合いながら、子どもと創る授業のあり方について考えていきたいと思います。

第2部について(森本隆史より)

「子どもたちと楽しい算数の授業をしたい」と思いながらも、気がつけば教師ばかりが話しているという現実がないでしょうか。

わたしも数年前まで、どうしてそんなことになってしまうのかがよくわかりませんでした。しかし、ここ最近、子どもたちは実に素直に教師の言葉に反応してくれているということがわかりました。

「教え込み授業」をなんとかしたいと思われている先生方、共に学びませんか。当日は、青山先生と一緒に、実際に算数の授業をしているように進めていきたいと思います。

第1部も第2部も2人の失敗談も交えて、対話をしながら進めていきます！

「対話的」な授業を実現するために大切なことがわかるはずです！



申し込み先 クリック↓↓↓↓

「第5回 算数GGゼミナール」6/27開催! 筑波大学附属小学校算数部 (toyokan.co.jp)